

平成 25 年 11 月 1 日

各 位

会社名 シダックス株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 志太 勤一
 (JASDAQ コード番号 4837)
 問合せ先 取締役 管理本部長 兼 経理財務本部長 兼 IR担当
 若狭 正幸
 (TEL. 03-5784-8909)

第2四半期業績予想との差異に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 20 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想と本日公表の同期実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値と実績との差異
 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	95,000	2,750	2,400	1,300	35.52
実績値 (B)	94,273	1,005	707	40	1.01
増減額 (B-A)	△726	△1,744	△1,692	△1,259	
増減率 (%)	△0.8	△63.4	△70.5	△96.9	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	92,142	2,009	1,879	732	19.80

差異の理由

売上高につきましては、北米市場におけるスペシャリティレストラン事業が、米国経済の回復基調の継続により、新規店及び観光・行楽施設内レストランが堅調に推移し、また、為替の影響もあり、貢献しました。一方、国内市場においては、政府の経済政策への期待感により景気回復傾向にあるものの、实体经济への波及は限定的であり、本格的な景気回復には未だ至っておらず、外食産業におきましても、市場規模に拡大が見られない状況の中、業種を超えた厳しい状況が続いており、主に、レストランカラオケ事業では様々なキャンペーン企画等による売上拡大戦略を実施してまいりましたが、当初計画を下回る結果となりました。

利益面につきましては、材料費・労務費の原価管理の徹底と経費の圧縮に継続的に努めたものの、円安基調による原材料の高騰や電力需給調整による電気、ガス料金等の単価アップ、新規事業における先行投資等、当初計画を下回る結果となりました。

なお、下期の業績動向については外部環境が依然不透明な状況であることから、現時点において通期の見通しの変更はございません。

※ 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上